

「知力の育成」

「知の構造の理解」

◎3人の職人がいた。..君はどの職人レベル？
「何をしていますのですか」の問いに.....

- 1人目は「レンガを積んでいるのです」とだけ答えた。
- 2人目は「レンガを積み教会の壁を作っている。」
- 3人目は「レンガを積んで教会を造っています。」
- さらに、「やがて、あの子達がここで礼拝するでしょう。」

◎「構想」..意味や価値がわかる..「法則」にする

検証する

◎「構造」理解...「仮説」
*「論理思考」により、教会とはこう言うものだと考える

考える

◎「関係」がわかる..「知恵」
イメージ推理や基本理解で、知識をつなげて分類してみる

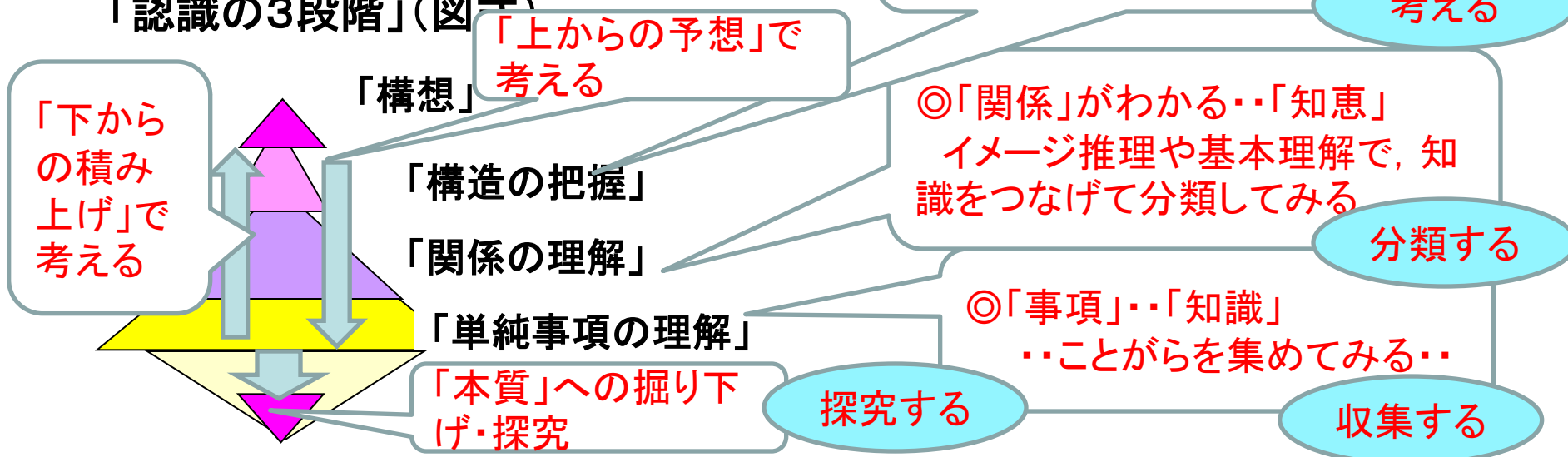
分類する

◎「事項」..「知識」
..ことがらを集めてみる..

探究する

収集する

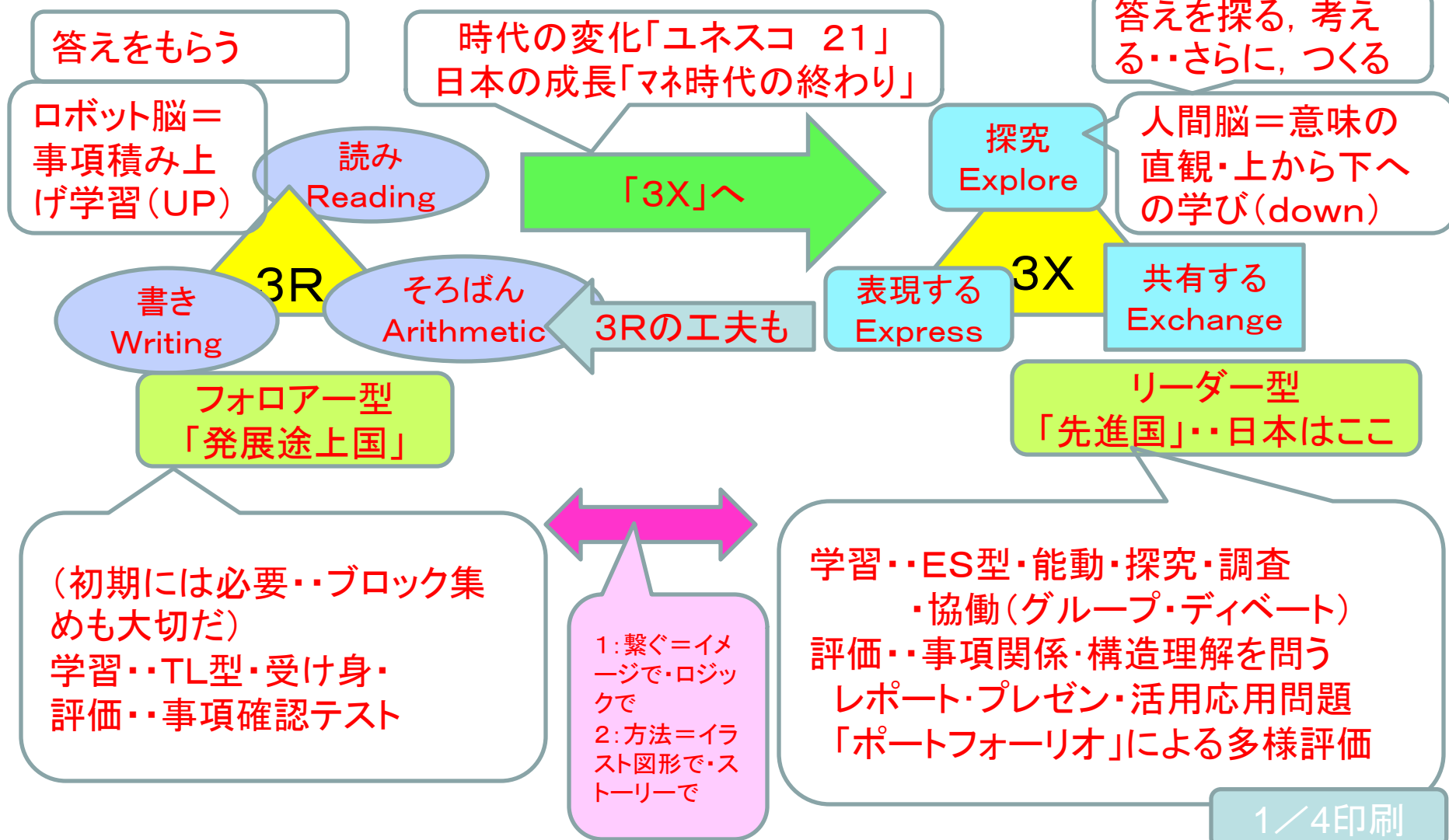
「認識の3段階」(図式)



「解説」 作業的学習(labor)だけを長時間続けても、仕事の学習(work)をする人には適わない。さらには、仕事や学習の先を読み、それを企画・計画(project)にする人には適わない。..そのために、深く考える人には、「現場」対応だけの人は適わない。

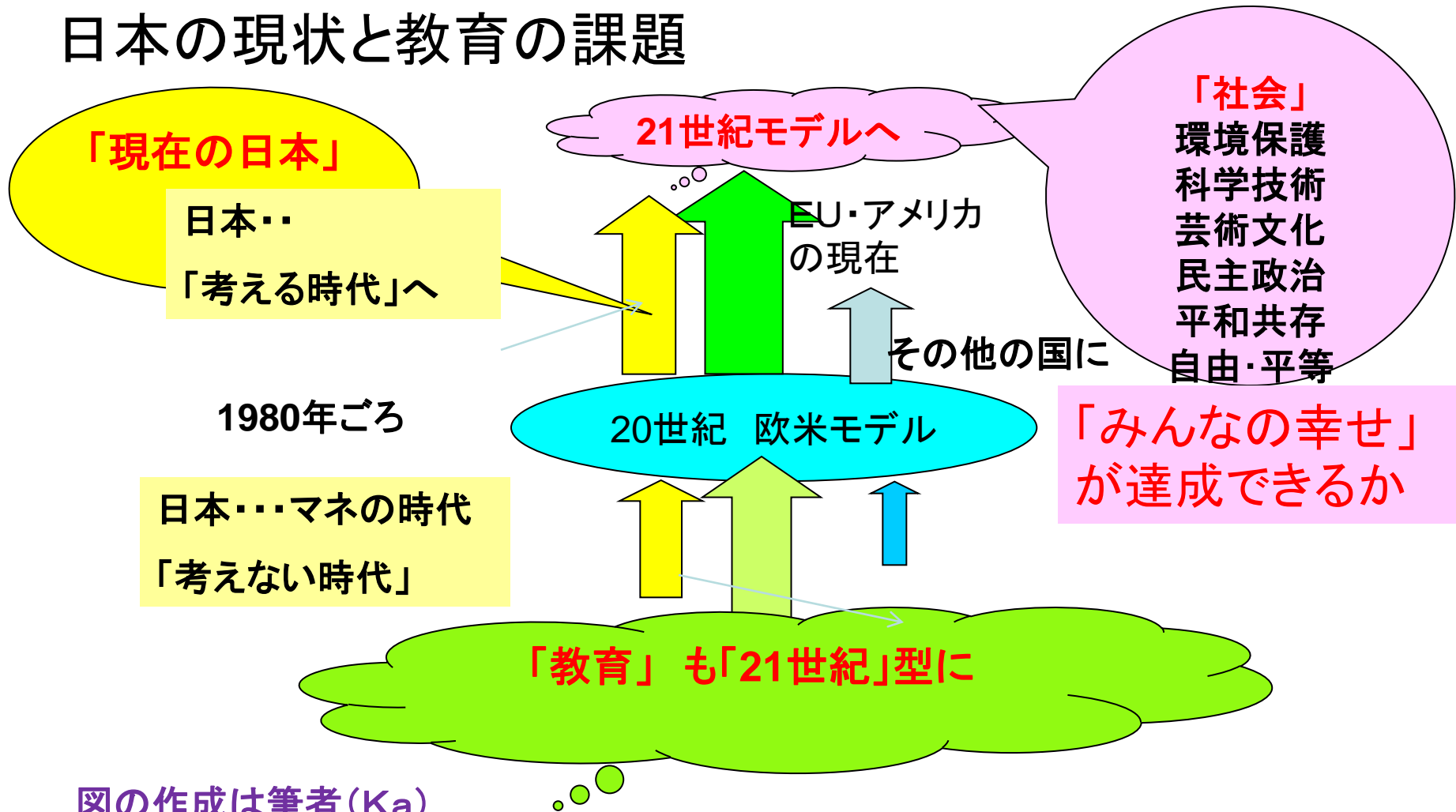
「学習活動の改善」 「3R」から「3X」(探究へ)

30年前の本・東井先生「教師は、教えることを惜しめ・・・」



「思考力」が求められる背景 時代背景・・考える時代に

日本の現状と教育の課題



図の作成は筆者(Ka)

「現在で求められる力は？」

・ ・ 単純仕事から複雑仕事ができることが要求される ・ ・

1:「働きの変化」

単純な作業(肉体)＝機械化 → 「オペレーターに」

単純な作業(頭脳)＝機械化 → 「クリエイターに」

2:「リーダーが必要なこれからの社会」

「これまで」

1980

「これから」

* 少数のエリートが社会を引っ張る・・・その他多くの人はそれに従う・・・

* かなりの数のリーダーが必要な社会・・・
* 多くの人が何かのところでリーダーとなる時代・・・

リーダー

「解説」・・・日本など先進国では、単純な労働は減少してきて、それらの仕事はロボットや他の国の人がすることとなった。日本の子どもたちは、複雑で高度な仕事をする事となる。だから、考える頭になることが重要となった。

また、日本の社会も民主化して、大勢の人が参加して運営する国となったのですから、ここでも多くの「リーダーやミニリーダー」が求められるのです。教育に、「考えること」が求められてきたのです。

「時代による学びの変化」 「オープンエンド」型の頭に…

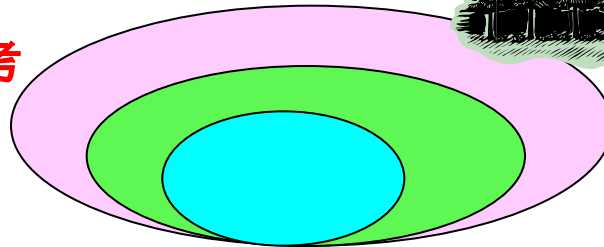
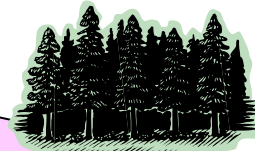
* 「学問の森へ」に乗り出す 「オープンエンド」



クリエイティブ思考

クリティカル思考

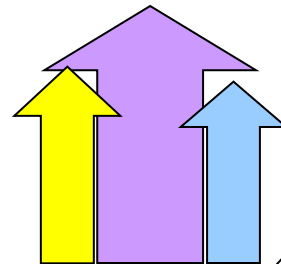
ロジカル思考



「探究型の学習」

* 学問への挑戦・活用

知識記憶＋イメージ＋
理解（探究）＋活用（探求
＝応用）

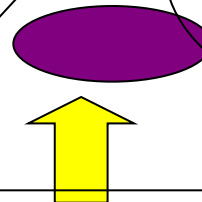


21世紀型



「テスト」で終わり
「クローズドエンド」

「テストが目標の学
習」… 記憶中心
の学習… 途中でと
まる知力



20世紀型

図の作成は筆者(Ka)